

- 1 日時： 令和元年5月23日（木）10時00分～
- 2 会場： 青森市教育研修センター 4階 第2研修室
- 3 出席者： 廣森直子議長、今別幸司委員、内海隆委員、滝口小百合委員、常田清彦委員、  
蒔苗礼子委員
- 欠席者： 高橋隆子委員、手塚理香子委員、福士めぐみ委員
- 事務局 教育部長 工藤裕司、理事教育次長事務取扱 佐々木淳
- 出席者： 浪岡教育事務所長 長谷川敬
- |                   |   |       |
|-------------------|---|-------|
| 参事・文化学習活動推進課長事務取扱 | : | 田中聡子  |
| 参事・文化財課長事務取扱      | : | 葛西俊一  |
| 中央市民センター主幹        | : | 穂元学   |
| 市民図書館長            | : | 伊藤慶尚  |
| 指導課長              | : | 須藤隆文  |
| 教育課長              | : | 敦賀谷敏彦 |

#### 4 次第

- (1) 開会
- (2) 議題 令和元年度社会教育関係年間予定について
- (3) 報告
  - ・平成30年度の市議会質問状況について
  - ・小学生職業体験講座の実施について
  - ・社会教育委員スキルアップ事業について
  - ・学校運営協議会制度の導入について
- (4) その他
- (5) 閉会

#### 5 主な質疑応答、意見等

##### 《小学生職業体験講座の実施について》

- ・浪岡地区開催時には、浪岡の企業にも参加してもらってはどうか。  
子どもたちにとってはとても良い経験になると思う。  
子どもはキャリアについて学ぶところが多かったと思う。地域の大人も関わるようなものがあればよいのではないか。
- ・市民センターや公民館の特徴を活かしたコンテンツとは何か。
- ・職種はどのようにして選んでいるのか。
- ・事務局  
中央市民センターではプラネタリウム体験、屋内競技場とグラウンドがある浪岡中央公民館ではスポーツ体験を実施した。  
来場した子どもたちにアンケートを実施し、それを参考にしながら新しい職種も入れるようにしている。

## 《学校運営協議会制度の導入について》

- ・規模が大きくなるほど、コミュニケーションをうまくやる必要がでてくる。  
実施する上で生じる課題解決のため、先駆的事例の勉強会を開くなどをしてはどうか。
- ・教員や事務局職員の異動時期で現場が混乱したので、4月1日からということではなく移行期間があればよかった。
- ・コミュニティスクールをどう構築していくかというのは、地域のコミュニティのつながりを事前に把握してから行うことが大事である。

### ・事務局

混乱を招いたのであれば、情報が皆様に十分行き届かず説明が足りなかったと思うので、今後も理解していただけるようにしていく。

各校毎で行ってきたことを中学校区単位で行うシステムに変えたものであるが、これまでの学校ごとのまとまりを大切にしながら、その基盤を壊すことなく緩やかに確実に進めていく。